



エコ・ファーストの約束(更新書)

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

環境大臣 細野 豪志 殿

平成 24 年 3 月 22 日

三洋商事株式会社 代表取締役 上田 博康

三洋商事株式会社は、産業廃棄物業界において、多数の電気・通信機器企業からの通信機器類の収集運搬および中間処理を取り扱う中核企業としての社会的責任を踏まえて、コンプライアンスを徹底するとともに、環境経営を通じて積極的に社会貢献するため、以下の取り組みを進めてまいります。



循環型社会の形成に向けた取り組みを推進していきます。

- 廃棄された通信機器類を手作業による解体により、素材をきめ細かく分解・分別することで、廃棄物の 97% 以上の再資源化率(リサイクル率)を維持・継続してまいります。
- 廃棄された通信機器類に含まれる希少金属等について、きめ細かい分解・分別により高付加価値の循環資源として回収を行い、市場に供給を行います。



自然エネルギーを利用した電力を積極的に活用するとともに、オフセットします。

- 2008 年度中に、自社(奈良支店)で、1,500kWh / 月の太陽光発電システムを導入します。これにより、自社(奈良支店)で使用する電力の約 3 分の 2 を自家発電します。2015 年までには残りの電力についても 100% 自給できるよう設備投資を行います。
- 当社の消費電力(148,000kWh : 2008 年度予想)については、2008 年度は、東大阪市のポツポおひさま発電所(保育園)から 8,000kWh 分のグリーン電力証書を購入し、さらに、残りの分についてもグリーン電力証書を購入し、その後もカーボンオフセットの取り組みを継続して行います。



廃棄物の収集運搬や中間処理で発生するCO₂を低減するとともに、オフセットします。

- 保有する収集運搬車(43 台)を低公害車および最新規制適合車への代替(例えば、2 トン車は天然ガス車、大型車はハイブリット車などへ)やエコドライブ講習の受講、アイドリングストップへの積極的な取り組みにより、自社で化石燃料(ガソリン、軽油、灯油)の使用に伴い排出される CO₂ を段階的に削減し、2015 年度に、2007 年度実績(原単位)に対し、CO₂ 総排出量を 10%削減することを約束いたします。
- 自社で化石燃料(ガソリン、軽油、灯油)の使用に伴い排出される CO₂ については、2008 年度はブラジルにおける水力発電事業(CDM 事業)の排出権 1,000 トン分を購入し、その後もカーボンオフセットの取り組みを継続して行います。



地球温暖化防止にむけた取り組みを積極的に推進します。

- 環境問題をテーマにした絵本「ハッピーの森」などを毎年出版し、地域の保育園や幼稚園、小学校などに無料配布し環境教育の啓発に取り組みます。
- 大阪府が実施している「アドプトフォレスト制度」などを活用し、地元地域で荒廃した森林の再生整備に、従業員が積極的に取り組み、CO₂ 削減を行うとともに、従業員の環境意識の向上を図ります。
- チームマイナス 6%に積極的に参画するために、全社をあげて、1 人 1 日 1 kg CO₂ 削減チャレンジ宣言に取り組みます。

三洋商事株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認するとともに、その結果については環境省への報告および環境報告書による公表を行ってまいります。

三洋商事株式会社は
地球に「ありがとう」を伝える企業です。



SANYO SYOJI CO., LTD.
METALS RECYCLE SYSTEM